

JOCジュニアオリンピックカップ 第55回全日本中学生ホッケー選手権大会 【大会レギュレーション(TD通達)】

1. 大会運営

本大会の運営は、(公社)日本ホッケー協会2025年度版6人制ホッケー競技規則、同競技運営規程、レギュレーション、大会レギュレーション(TD通達)及び有効な通達事項に則り行われる。

2. 競技規則

(公社)日本ホッケー協会2025年度6人制ホッケー競技規則による。

3. 競技時間(熱中症対策として下記のように試合時間を4Q制に変更する。)

(1) 試合時間は、7分間の4クォーター制とする。(ノンストップ方式)

(2) 第1・第3クォーターの後に1分間のインターバル、ハーフタイムに5分間の休憩を設ける。

1Q	インターバル	2Q	ハーフタイム	3Q	インターバル	4Q
7分間	1分間	7分間	5分間	7分間	1分間	7分間

(3) 試合は原則としてオンタイムで開始する。そのため、チームの皆様の協力をお願いしたい。

4. 時計

試合時間は、テクニカルテーブルで管理する。

5. 競技方法

(1) 男女とも、3チーム総当たりの予選リーグを行い、上位各2チームが決勝トーナメントに進出する。

(2) 決勝トーナメントにおいて規定の時間内に勝敗を決しないときは、試合終了後ただちに「7.」に定めるシュートアウト戦(以後「SO戦」とする)を行い、勝敗を決する。

6. 予選リーグの順位決定方法

(1) 勝ち点の多いチームを上位とする。勝ち点は、勝利チームに3点、引き分けチームに1点をそれぞれ与え、敗戦チームは0点とする。

(2) 勝ち点が同点の場合は、下記の順序・方式により順位を決定する。

①リーグ戦における「得失点差」(「総得点数-総失点数」の差が多いチーム。)

②リーグ戦における「総得点数」の多いチーム。

③上記において、同点の場合、「7」に定めるSO戦により順位を決定する。なお、同位チームが3チームの場合は、同一チームが連勝したとき(試合順序は競技運営規程付則書2.1.9参照)、そのチームを1位とする。(順位決定SO戦は、事象発生があった時点で通告する。通告後速やかに実施する。)

7. シュートアウト戦（SO戦）

※詳細については 2025年度競技規則及び2025年度競技運営規程参照

- (1) 両チームの監督は、レッドカードによる退場処分を受けている選手を除いた、公式試合記録に記載された選手の中から3名の選手と1名のゴールキーパーを指名する。
- (2) 両チームの主将によりトスを行い、先攻・後攻を決める。その後、両チーム3名ずつの選手により交互に攻防を1巡行い（計6回）、得点の多いチームを勝者とする。なお、勝敗が決した時点で終了する。
- (3) (2)の方法によって勝敗の決しない時は、両チームが同数の攻防を行った中で最初にリードしたチームを勝者とする再SO戦を行う（サドン・デス方式）。この場合、選手はプレイ不可能な者を除き各チーム同じ選手により先攻・後攻を入れ替えてSO戦を行う。ただし、攻撃を行う順番は変えても良い。
- (4) SO戦においてPSになった場合は、当該SO実施選手に限らず公式試合記録に記載された選手がPSを実施することができる。

8. 試合の中断と追試合

天候などやむを得ない理由等によりTDが判断し試合が中断された場合は、下記により試合を再開する。

- (1) 中断した時の得点で残り時間のみ試合を行う。
- (2) 期日・競技場・審判員等は、同じとは限らない。

9. チームベンチ

1チームの編成は、監督1名、コーチ1名以内、チーム医療スタッフまたは手当てををする者2名以内、選手12名以内とする。

※選手は1～12の番号をユニフォームの定められた場所に明示する。

※参加申込みの際、同一校・同一クラブの男女チームの監督を兼ねることはできない。監督とコーチの兼任は可とする。ただし、男女それぞれのチームでJHAのチームスタッフ登録を済ませていること。なお、学校部活動の監督については教員または、部活動指導員であること。

※クラブチームにおいては、監督またはコーチのどちらかは指導者資格を有し、指導者資格を有する者がベンチ入りすること。(JSP0：日本スポーツ協会公認スポーツ指導者 コーチ3以上)

※手当者は大会開始日に20歳以上の者でJHAチームスタッフ登録を済ませること。

※チームベンチには、参加申込書に記載された者以外は入ることができない。(但し、学校長、チーム代表者、ベンチには入れない3年生等、TDの許可を受けた者はこの限りではない。このことは監督会議で確認する。)

10. フィールドへの立ち入り

試合中、選手にケガ等が起こった場合は、ベンチ内にいるチーム医療スタッフ、または手当てをす

る者の1名及び監督・コーチ*のどちらか1名が、当該審判員の許可を得てフィールド内に入り、手当てを行うことができる。(ただし、その際にコーチングをすることは厳禁)

*：中学生を指導している実情を考慮し、負傷時等の対応としてコーチを特例として認める。

1.1. 選手の交代

- (1) 各チームは、試合中随時どの選手でも交代できる。その際ビブス等（ユニフォームと異なる色）を使用して交代することとする。但し、PCが与えられている間は、誰も交代できない。(負傷した守備側のGKは除く)
- (2) 一時退場（グリーンカード：1分、イエローカード：2分以上）中の選手に対する交代は、当該選手の退場時間中は許可されない。
- (3) 選手の交代は、センターライン付近で行われる。その際、時間の停止は行わない。但し、GK及び負傷者の交代については、審判員の管理下で行われる。

1.2. ルール確認 ※2023年以降の変更点のみ

- (1) 落下地点でレシーブしようとしている選手に対し、4mより離れた地点から近づいてボールをインターセプトすることができる。上げられたボールを受け取る側がボールに触れた瞬間に相手側がプレイすることが可能になる。(ただし、危険と判断された場合はこの限りではない。)
- (2) PCの際、守備に入らない守備側選手、罰則を受けて攻撃や守備に参加できない選手は、全て相手側16mエリアに位置する。
- (3) SO戦について、ゴールラインからフィールド中央の16m地点にひかれた16mスポット上から行い、開始の合図から6秒以内とする。
- (4) PCにおいて守備側のフリーヒットでゲームが一旦途切れて再開される場合、PC用の防具を全て取り外してからプレイしなければならない。
- (5) PCがあたえられたとき、すべての守備側選手は、顔面または頭部全体を保護するフェイスマスクを着用すること。ただし、特別な理由があって装着できない場合は、「未装着届」(別途送付)を必ず提出すること。

1.3. 確認事項

- (1) 今大会では、チームは事前にシステムの「会員証一括印刷」より顔写真入りの会員証を印刷し、選手各自がネックホルダーに吊り下げて提示する。(カラーまたは、白黒印刷は問わない。)
- (2) 今大会では、「スターティングリスト」の提出は行わない。試合開始15分前に次試合チームは、「次試合チームテント」で待機するとともに、監督がスターティングメンバー6名を担当競技役員に申告する。次試合チームテントでは、競技役員により選手確認、リングパス、服装・装具の点検を行う。
- (3) ユニフォームは必ず2着(色は反対色になるもの)を用意し、試合会場(ベンチ)に持参すること。

- (4) 選手はすね当てを必ず着用し、ストッキングを上まであげて履き、膝は隠さないこと。また、マウスガードは必ず着用すること。ただし、特別な理由があって装着できない場合は、「未装着届」(別途送付)を必ず提出すること。
- (5) キャプテンは、上腕または、ストッキングのどちらかにキャプテンマークをつけること。
- (6) GKは、ケガの防止のため装具を完全に着用すること。また、アンダーパッドは必ず使用すること。(チームの責任で遵守すること)
- (7) チームベンチは、[競技日程表]の左側のチームがテクニカルテーブルからコートを見渡せる方向から見て左側のベンチとする。
- (8) PCで使用する保護具は、試合開始前、担当TOにより確認をする。
- (9) 応援者は、大会実行委員会およびU15カテゴリー一部会の指示に従うこと。(保護者など応援者からの抗議等には一切応じない。監督は保護者による抗議等はできない旨を事前に周知すること。)
- (10) 試合中、乱暴なプレイや審判員に対する誹謗等スポーツマンらしくない行為は、厳に戒める。
※参加者(チーム、競技役員、大会関係者)は、(公社)日本ホッケー協会が定める諸規程を熟知し、その内容に同意の上、「行動規範確認書」を提出したものとみなす。違反した場合には、懲戒処分を受ける可能性があり、参加者は自身の言動について責任を負うものとする。
- (11) 選手が負傷により出血したときや頭・顔・心臓付近にボールが当たったときは、本人・チームの意向とは異なったとしても、安全確認のため直ちに退場すること。止血処理と傷の手当てが完了するまでは、再出場できない。(試合時間で1分以上の安静時間を取ること)
なお、ユニフォームに血液がついた場合、そのユニフォームでの試合は参加できない。
- (12) 試合開始時、選手が6人に満たない場合でも試合は成立する。ただし、GKは必ず配置しなければならない。また、登録時(大会参加申込書に登録した選手)においても6名に満たなくともエントリーを可とする。(今大会における特例緩和措置)なお、棄権または試合中に退場・怪我等により、1チームの人数が3名以下になった場合は、その試合は没収試合とする。
・予選リーグにおいて没収試合があった場合は、そのチームの試合をすべて没収し、残りのチームで順位を決定する。なお、没収試合のスコアは5-0とする。
・決勝トーナメントにおいて没収試合があった場合は、相手チームの不戦勝とする。
- (13) 「負傷・事故報告書」の提出を課せられた者は、医師による治療後、負傷・事故報告書をTOまたは、TDに提出する。本人への健康確認のうえ、次試合の出場を認める。試合が無い場合は、負傷・事故報告書の原本を大会事務局に郵送するか、PDFファイルにしてデータを大会事務局に送付すること。
- (14) 今大会において、抗議制度はない。
- (15) 試合終了後、両チームの監督は、テクニカルテーブルで公式試合記録に署名すること。
- (16) その他、本レギュレーションに定めのない事項または、不測の事態が発生した場合は、TDの指示に従うこと。
- (17) PCが与えられたとき試合時間は停止されない。また、準備のために40秒間の計測はしないが、守備側選手のフェイスマスク、保護用グローブ、膝当て等の着用は速やかに行うこと。

- (18) 個人罰則について、グリーンカードは競技時間中に1分間退場、イエローカードは競技時間中に2分間以上の退場処分が科せられる。退場時間の長さはカードを提示した審判員からTOに伝えられる。退場時間の管理は、TOが行う。カードが複数枚出された場合は退場時間が加算される。
- (19) メーカー識別標章（マニュファクチャャーロゴ）については、JHA ユニフォーム規程に示されたことを原則とする。現在使用しているユニフォームについては、義務教育下であることを考慮し、監督会議にてTDの判断により対応を指示する。ただし、今後新しいユニフォームを作成する場合は、ユニフォーム規程に準じたものを作成すること。
- (20) 熱中症対策については、「ホッケー競技における熱中症対策ガイドライン」に基づき、大会実行委員会および（公社）日本ホッケー協会 U15 カテゴリー部会と協議の上、TDが対策を決定する。

以上